

経営比較分析表（令和6年度決算）

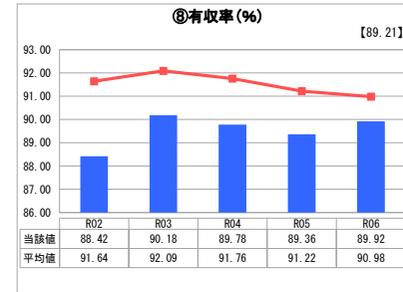
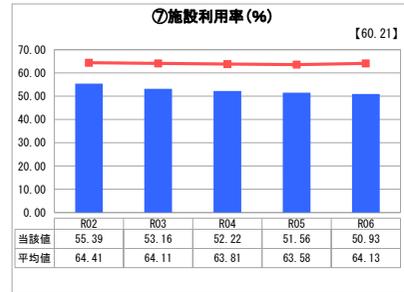
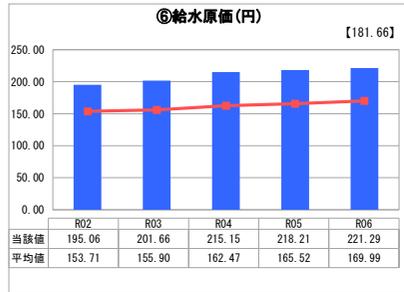
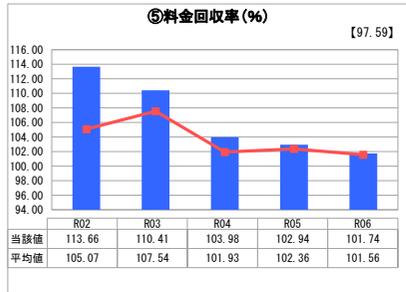
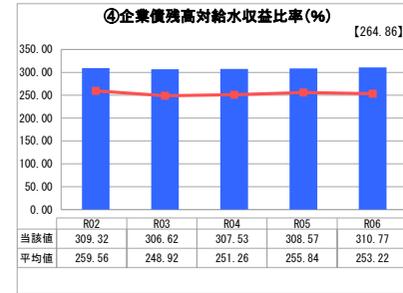
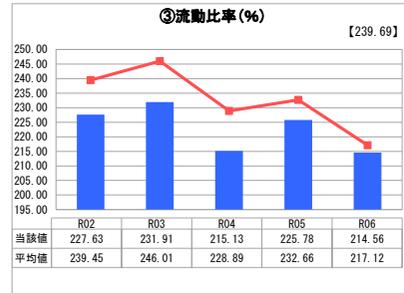
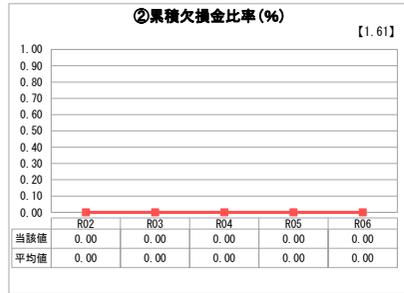
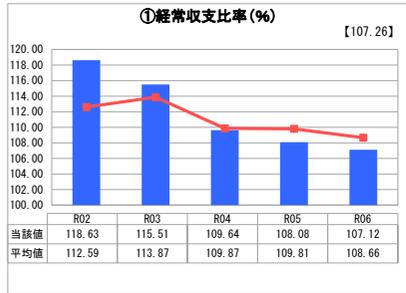
福島県 いわき市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	73.09	102.38	3,729	

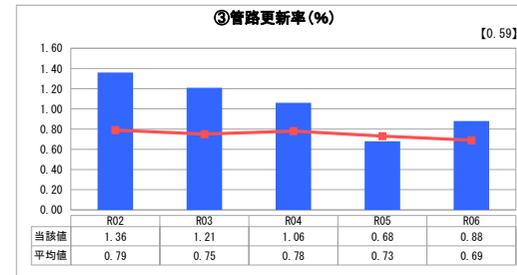
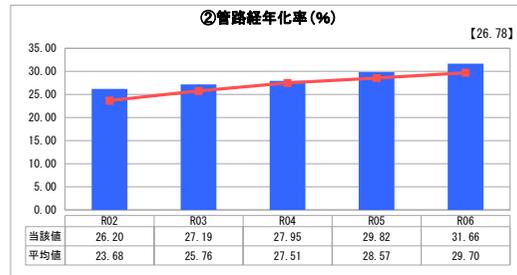
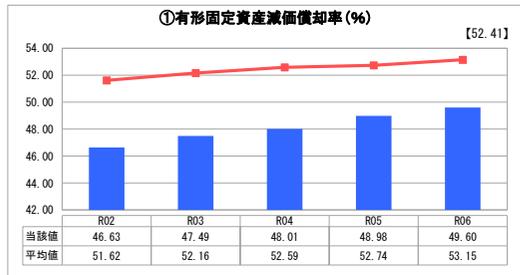
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
303,171	1,232.51	245.98
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
307,848	466.03	660.58

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は年々減少しており類似団体平均を下回っていますが、良好な数値である100%を上回っております。
 「③流動比率」は100%を上回っており短期的な財務状況は良好です。
 「④企業債残高対給水収益比率」は給水収益の減少により、前年度と比べ2.20ポイント上昇しています。
 「⑤料金回収率」は100%を上回っており給水に係る費用が水道料金で賄われていますが、年々低下しています。
 「⑥給水原価」は、物価の高騰などの影響を受け年々上昇しており、かつ、類似団体平均値を上回っています。これは広域で起伏に富む地勢、中小河川への依存により施設を多く抱えているなどの要因によって、より多くの給水コストがかかっているためです。
 「⑦施設利用率」は、年々減少しており類似団体平均値を下回っています。このことから、施設のダウンサイジングなどの施設の効率性を高める対策を進めていく必要があります。
 「⑧有収率」は、類似団体平均値を下回っています。このことから、現在、老朽化対策や漏水防止対策を強化し、有収率の改善に努めています。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、類似団体平均値を下回っています。
 「②管路経年率」は、類似団体平均値を上回っています。
 「③管路更新率」は、類似団体平均値を上回りました。本市は令和4年1月に新たに策定した経営プランである「いわきみらいビジョン2031」の主要事業として位置付けされている老朽管更新事業に取り組んでいますが、令和6年度は老朽管更新事業における債務負担行為の設定工事の増加等により目標値の1.00%を下回っている状況です。

全体総括

経営の健全性については、概ね良好ですが、今後は給水人口の減に伴う給水収益の減少などにより低下していくことが見込まれます。
 施設の効率性については、類似団体平均値を下回っており、ダウンサイジングなどの施設の効率化に取り組む必要があります。
 老朽化については、管路経年率が類似団体平均値と比べ高い状態にあることから、現在、老朽化対策を強化し、計画的に老朽管更新を進めています。
 今後、給水人口の減に伴う給水収益の減少や物価高騰に伴う様々な費用の増加、水道施設の更新需要の増大により、経営環境は厳しさを増す見込みであることから、「いわきみらいビジョン2031」に位置付けた事業を着実に実施し、経営の効率化などによる財政基盤の強化や水道施設の計画的な更新を進めることで、これらの課題に適切に対応していきます。